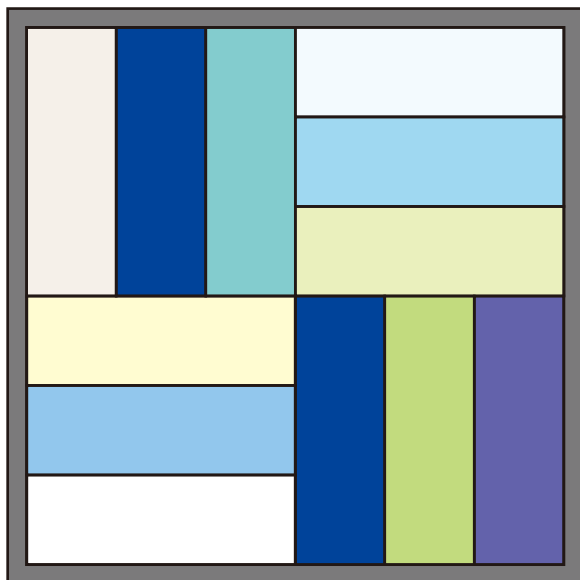
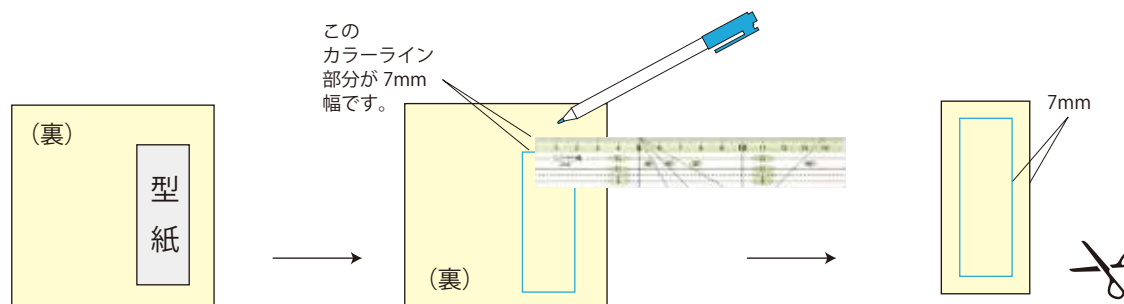


# レールフェンスのティーマット



## 【作り方】

- ①パターンシートで2ページにある型紙を作ります。
- ②布の裏に型紙を使ってしるしを付け、周囲にパッチワーク定規で7mmのぬいしろをつけ、ぬいしろ線でカットします。



制作・プロセス指導／  
パフェプロジェクト神戸 松本直子  
出来上がりサイズ：よこ約 21cm たて約 21cm

### <用具>

57-660  
パターンシート  
<https://clover.co.jp/products/57660>

36-663  
パッチワークはさみ 170  
<https://clover.co.jp/products/36663>

57-930  
パッチワーク定規<カラーライン>細幅 15cm  
<https://clover.co.jp/products/57930>

57-400  
ワンタッチしつけピン<10本入>  
<https://clover.co.jp/products/57400>

57-157  
ピーシング針「ブラック」<長>  
<https://clover.co.jp/products/57157>

糸切はさみ、パッチワーク待針、目打  
水性チャコペン  
ミシン、アイロン、アイロン台など



### <材料>

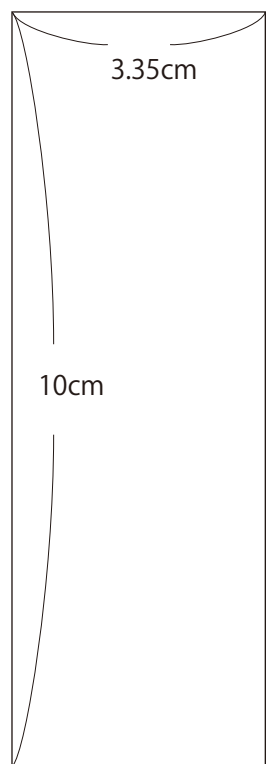
パッチワーク用布  
30cm×23cm

裏布 26cm×26cm  
キルト綿(薄手) 24cm×24cm  
パイピング布 3.5cm×91cm

ミシン糸、手縫い糸

この作品に必要な布の総量の目安です。お好みの色柄を組み合わせてお使いください。

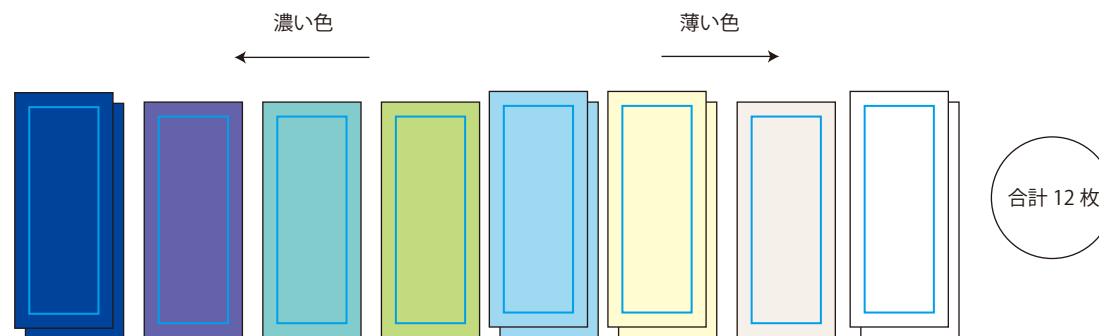
●実物大型紙



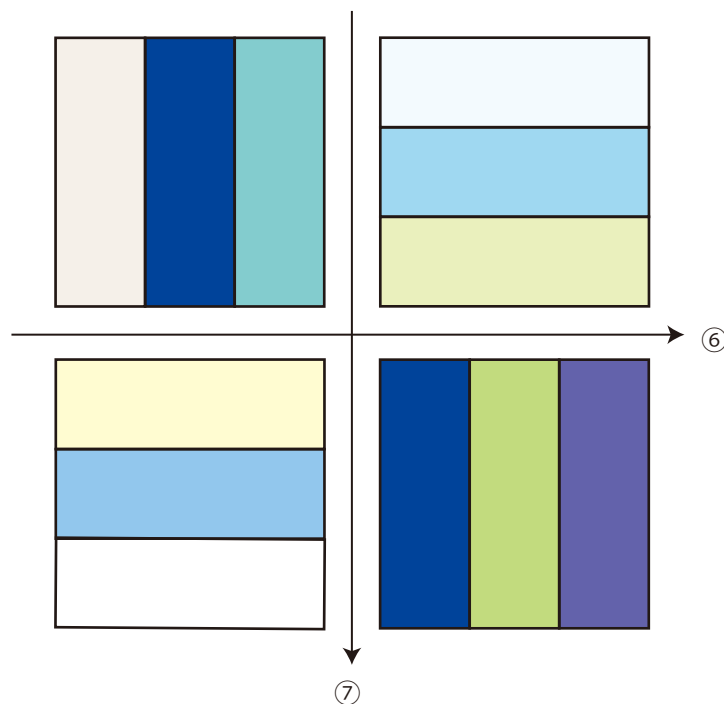
パターンシートに写して、はさみで丁寧に切りましょう。



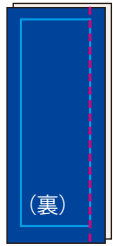
③12枚の長方形のピースを作ります。見本作品では、ブルー系を中心にグレーや紫の布を準備しました。



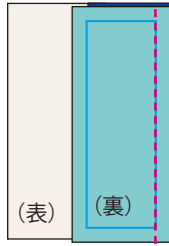
④12枚のピースをバランスを見て並べます。配置が決まったら、スマホで撮影しておくとも便利です。



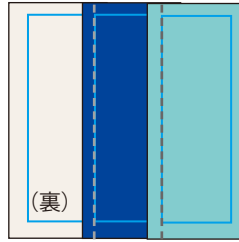
⑤長方形を3枚つないだ正方形のピースを4つ作りま



中表に合わせて  
点線部分をミシン。



さらにもう一枚  
中表に合わせてミシン。



ぬいしろは、一方方向に  
倒します。

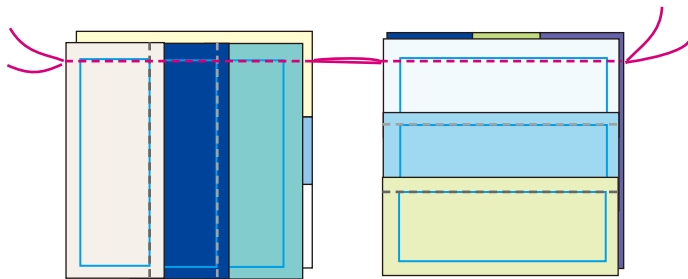
あると便利

ぬいしろ倒しがラクラク。  
アイロン代わりに。



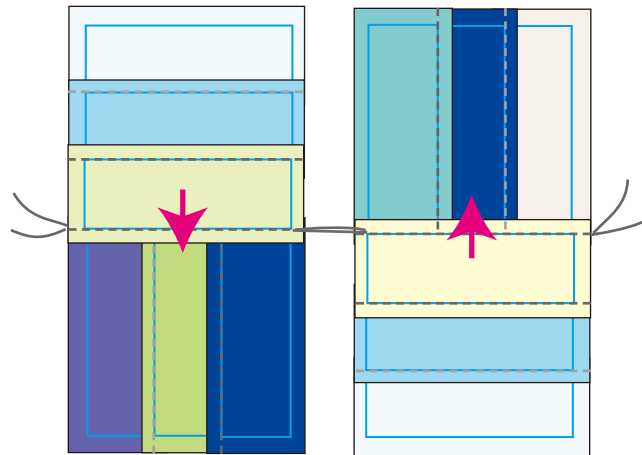
57-655 コロコロオープナー  
<https://clover.co.jp/products/57655>

⑥ミシンで縦につなぎます。



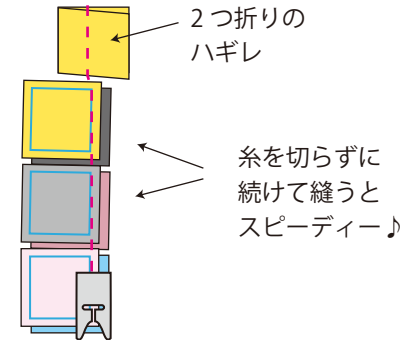
糸を切らずに続けて縫います。

ぬいしろは交互に倒します。



【ヒント】

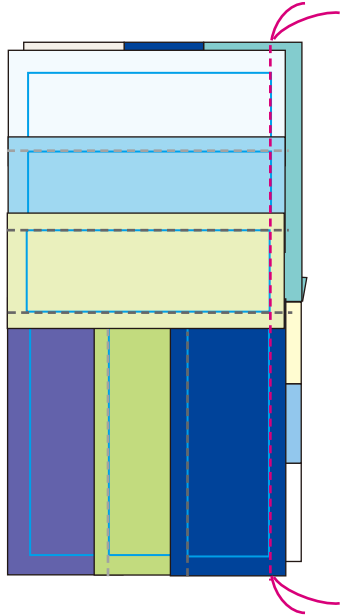
ミシンの縫い始めが安定しないときは、先に半分  
に折ったはぎれを縫い、その続きで縫うと、パッ  
チワークもキルティングも安定して縫えます。



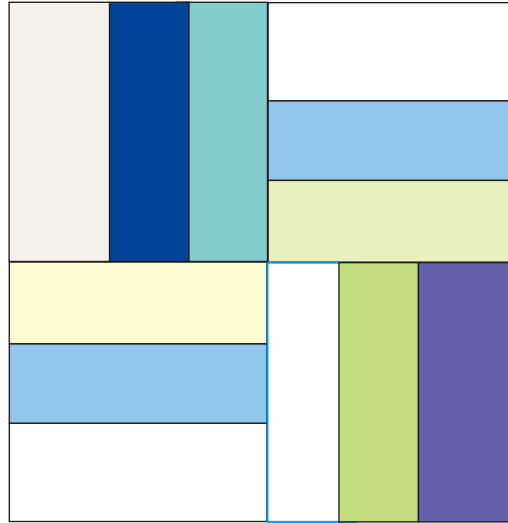
ミシンの布送りに目打を使うと、重ねた生地がずれにくく、きれいに縫えます。



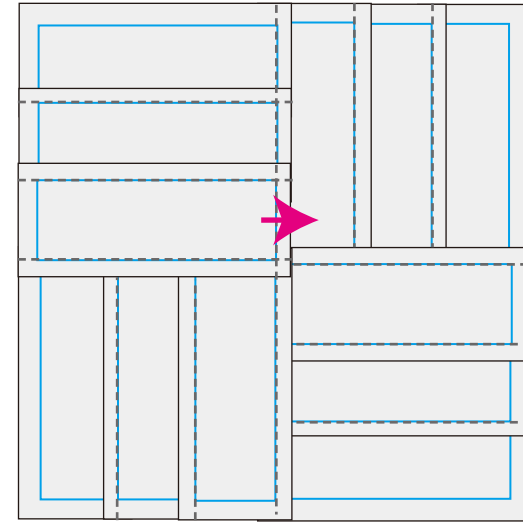
⑦横につながります。



アイロンで整えて、キルトトップの完成です。

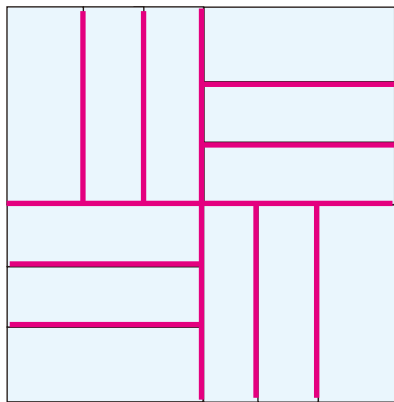


ぬいしろは図のように倒します。



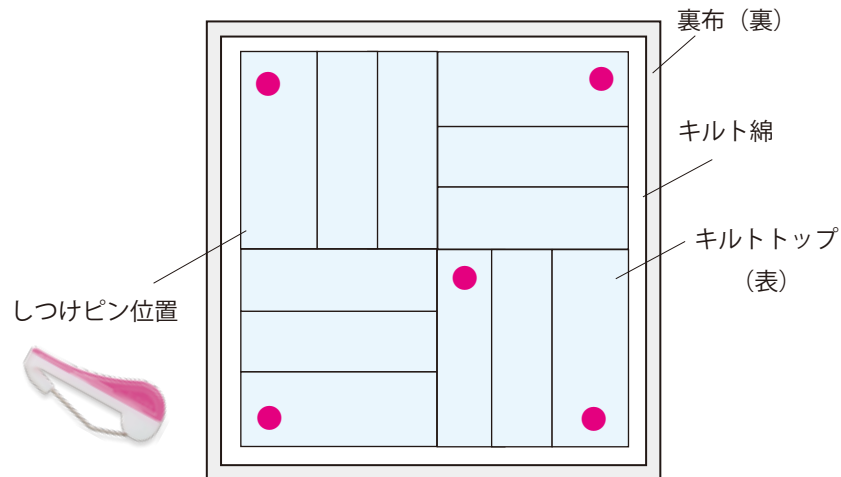
⑦キルティングします。

-1) キルト位置を確認します。(キルトラインは必要ありません)

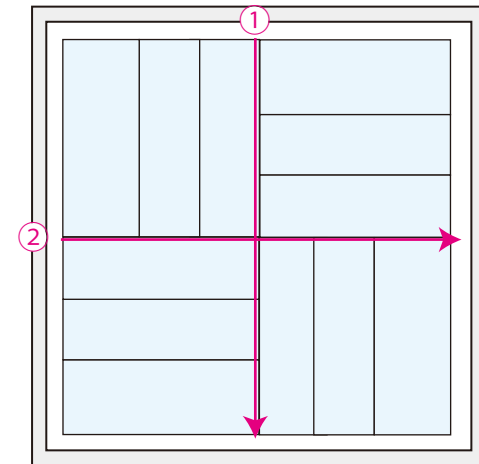


キルトトップ  
(表)

-2) 裏布、キルト綿、トップの順に重ね、●の位置にワンタッチしつけピンをとめます。(押え金が当たらないところに付けます)

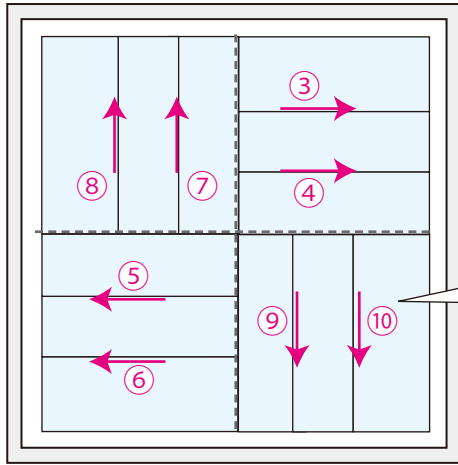


-3) 図の順に、ミシンをかけます。



-4) 細かい部分も順にミシン。

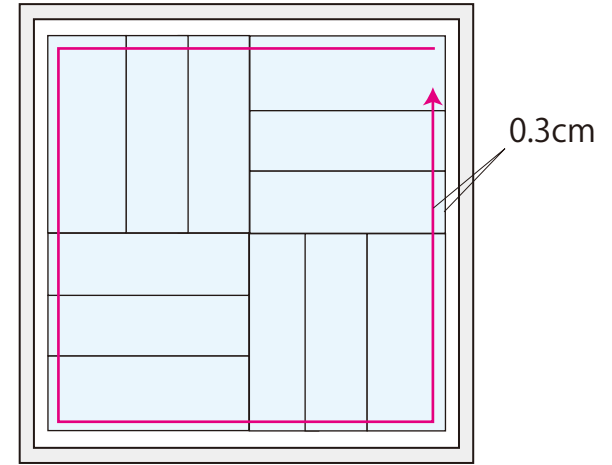
縫い終わったところのしつけピンは外しながら作業します。



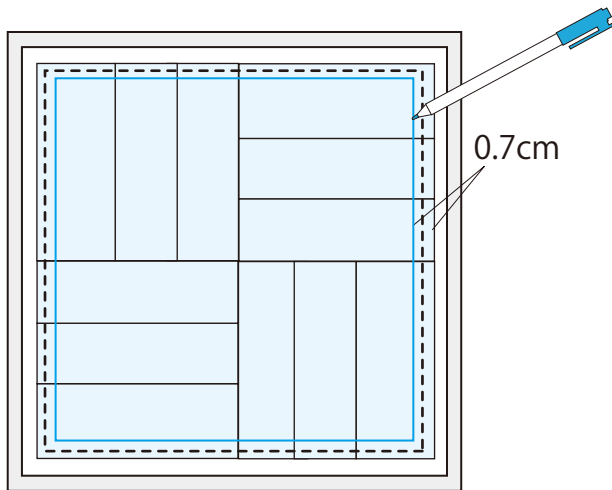
ピースの縫い目脇にするキルトを「落としキルト」といいます。基本的に、ぬいしろのない側を縫いますが、ミシンキルトでは必ずしもそうなりません。

-5) 大きな針目で、周囲をミシンで縫います。

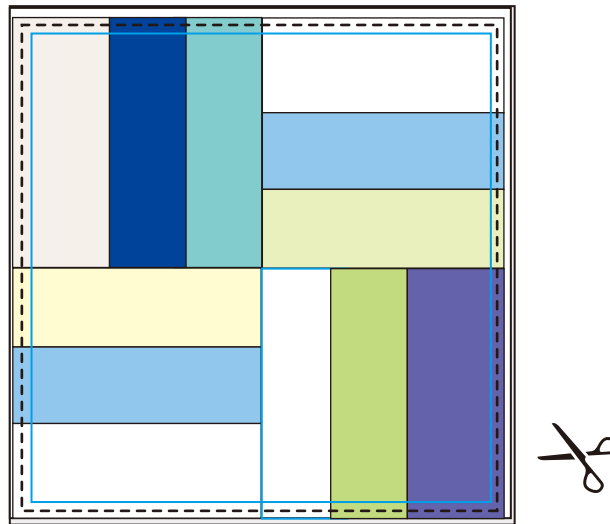
※小さな針目だと縮んでしまいます。



-6) 出来上がり線を引き直します。



-7) 周囲を切りそろえて、キルト部分の完成です。



続きは、パイピングの方法 PDF をご覧ください。